

コミュニティ 人

私と人とまちの間に

2014.SEP
102号

9

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

回
覧

もくじ CONTENTS

FEATURE

回覧板は今日もまわる。

- 7 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん~これって、みんなの問題~
- 8 タイムスリップくさつ
- 9 みんなとめん・めん 通算43号
- 10 オール草津の市民創作ミュージカル
- 11 まちがいさがし
- 12 熊谷栄三郎の徒然草津 第14回

洪川の花踊り

1469年に雨乞いが成就したことへのお礼として踊ったのが起源といわれ、毎年9月13日に伊砂神社に奉納されます。今も保存会の人々によって大切に継承されています。滋賀県選択無形文化財。

(撮影 辻村耕司)

「カレンダー いちまいぜんぶ なつやすみ」楽しかった夏休みが終わり、子どもたちも、そして、まちも日常の落ち着きを取り戻したようです。さあ、なにをするにも過ぎやすい秋。「階段を一段上り 秋来たる」今年は何にチャレンジしましょうか。
*俳句はどちらも「大人も読みたい」ことも歳時記(小学館より)

2014 SEP
102号

9

回覧板は今日もまわる。

目の前にある今月と前月の市広報を見ながら、うぐぐんと腕組み。工事のお知らせ、幼稚園では説明会があり、図書館は障がい者も安心して使えるらしい。給付金や補助金・手当の種類に驚くことなかれ、相談やアドバイスなんかは年金・人権・介護予防・認知症・消費生活・離乳食・健康…と盛りだくさん。催しや講座の案内、出演者募集があると思つたら、市の委員会では委員が決まり傍聴もできるらしい。開会される市議会ではこんな案件が議論され、警察は防犯を呼びかける。予防接種に検診・救急診療をチェックした後は市長の声を聞く…。



ひとことで「まちの情報」といつても、こんなにも多くの情報があるんですね。もちろん年齢・性別・ライフステージ・生活環境・家族構成・趣味や関心ごと・ハンデや疾病・介護の有無など様々な背景が必要とする情報は一人ひとり違う。市広報からちよつと拾っただけでもこれだけあつて、さらには学区に町内会・学校・PTA・近所のおしゃべり・子どもの今日のできごと・広げてみると県広報に新聞…もつここまでくると「情報」の海を小舟でゆらゆら漂っているよう。必要な情報を取捨選択するのももめてしまひそつです(笑)

当番が情報を届けています。

野路町内会長 福井 太加雄さん



そこに住む責任を果たしていく

南草津の宅地開発や都市整備が進むにつれ、旧来からの町の中に、お隣りに、と引越してくる人がずいぶんと増えました。若い世代も多くなり、中には近所づきあいや町内のつながりが敬遠するようすがありますが、自分

たちが高齢者と言われる年齢になる30年後くらいのことを今から考えておくことも大切。だから新しく住む人には必ず町内会に加入してもらおうと呼びかけています。

いわゆる新旧住民を問わず、野路町に暮らす人たちが仲良く、そして住みやすくするための町内会活動とはどのようなものか。この命題に取り組むため町内会長の諮問機関という位置づけで、まちづくり委員会を設置したのは平成19年のこと。以来、「回つこ三軒両隣から始まる絆づくり」をモットーに、つながりを大切に、縁あつて同じ町に暮らす住民それぞれがそこに住む責任を果たしていくつと活動しています。

そこで組の下に概ね15戸ずつとなる班をつくり、当番を一月ごとに班で回すことにしました。全戸配布や回覧などはこの班単位でします。15戸くらいだと負担もスピードもグツと短縮。

また、どんな時間帯でも当番が配布物を取りに寄れるように、野路区事務所の外に班別のロッカーを設置しています。仕事帰りに車で寄つてくれる人も多い。配布や回覧を班で分担することにしたことで、従来の組長は集金やサインを必要とするものなどだけを担当することになります。「時間を要するものは組長、急ぐものは小分けしてみんなで平等に」と負担を分担したわけですから、一か月間とはいえ、約15か月ごとに当番が回ってくるわけですから、住民の皆さんに納得いただける心配でしたが、やってみると皆さん協力的でスムーズに定着しましたね。この当番制には嬉しい副産物もありました。それは隣近所の人たちと顔を合わせる機会が多くなつたこと。地域の絆づくりまちづくりにあ

負担は住民で分担

まちづくり委員会の取組みの一つに「町の情報」があります。以前、新しい住民に回覧が回っていなかったという苦い経験がきっかけでした。また配布物や集金など、役にあつたつて人の負担を軽減する必要もありました。なにしろ人数の多い組なら100戸もあるので、それは

いさつと回覧板は欠かせません。



野路町内会HP
<http://www.noji-city.com/>



車いす生活 × 情報 = 町とのつながり

滋賀自立生活センター 福井 勲さん

できごとなどがいっぱい詰まっているものが嬉しい。地域のみなさんの動きや日常が感じられるものは知りたいし読みたくありません。

あたり前ですが、回覧板は早く読んで次の人に回さなければなりません。必要だと思う情報は自分で書き留めておかなくてはいけません。手も不自由な私には難しい作業でもあります。こんなときは「重要な内容の紙面はコピーして配布するなど、もうちよつと配慮してくれたらな」なんて思うことも正直なところではあります。



車いす生活の一人暮らしです。町の回覧板がまわってくるのは月に1~2回ですかね。防犯や交通の情報・健康維持の活動・地域清掃や行事などのお知らせが主ですね。もちろん、「これ重要なかな?」と感じるものもあります。「読むのも面倒なので回覧板は(自分を)とばしてほしい」なんて声すら聞くこともありませんが、私は決して言いません。私にとつての回覧板はとても重要。車いすでの生活は他の人と比べると情報を得ることが難しいものなんです。自分の周りではどんなことが起こっていて、それに対してどのような動きがあるのか、自分の町の情報は些細なことでも知りたい、そう思うのです。そんな意味では、町内や学区で作られている情報紙はありがた。特に手づくり感があって地域の

私の住む周りでも「高齢になり町内会の役をできない。申し訳ないの町内会をやめる。だから町内の情報は入ってこなくてもよい」「高齢になると回覧板を持っていくのもしんどい。自分をとばして次の人に回してください」そんな話を聞くようになりまし。私のように、介護ヘルパーさんに回覧板を回してもらうこともできるのに...と思うこともありすが、まあ、まちなことを知りたいと思うかどうかは人それぞれですからね。

今、住んでいるところはバリアフリーなので大丈夫だけど、引越す前の住まいはバリアばかり。もし役

回覧で犬のふんが

町から消えた理由とは

とある元町内会長のお話

私の町は定年退職を迎えたかどろがくらの世代が中心。子どもたちも巣立ち、夫婦二人暮らしが多くなってきました。中には、どちらかが亡くなり独り暮らしとなった家もちらほら。こうなると町内に回る情報が増えつつあるのが訃報通知なんです。何よりスピードが求められる情報。わが町では亡くなられた家を組長が訪れ、葬儀の日時や会場、送迎バスの有無、お悔みの対応などを確認してから町内会長から各組長を通じて全戸へお知らせするシステムです。でも最近家族葬が多くなってきた、町内会としてどのように対応していけばいいのか...難しいものです。私が町内会長の時に、自宅で葬式をあげた住民さんがいますね、なぜかホツとしたのを覚えています。昔はみんな自宅で見送りしていたものね。

定年を迎えた世代が中心の町で、よく見かけるようになったもの。そう、朝晩の犬の散歩とそこから生まれるフン。町内会として貼紙などで注意を促しましたが結果は皆さんのご想像のとおり。

そこで私は実際に町内をまわってみることにしました。犬のフンを見つけては写真を撮り、地図に落とし込む作業を数日間すると、あることに気づきました。ルート。そう、よく使われる犬の散歩道があるので。そこでフンを見つけた場所をマークした地図・フンの写真と草津市の「犬のふん条例」を載せ、飼い主の義務と責任を促すお知らせを回覧しました。すると、ウンのようになくなったのです。フン。

ただ具体的な場所と現状を示しただけ。誰かを名指しで注意したわけでもない。でも当事者に伝わり行動に結びついた。そもそも回覧は町の人にお知らせするだけのものと思っただけ。改めた効果に驚いたの言うまでもありません。



犬のふんで迷惑
みんなが
みんが
し
飼

*飼い犬のふん等の放置防止等に関する条例

では、ここであなたの「まちの情報力」について少し力だめし。



【問1】次の [] を埋めなさい。

- ① 今年の町内会長は [] さん。組長(班長)は [] さんです。
- ② わたしの町内には約 [] 世帯の家があります。組(班)は [] に分れています。
- ③ 町内会の年間予算は約 [] 万円。ちなみに町会費は年間 [] 円です。
- ④ 市の広報は年に [] 回発行されます。自宅には [] さんが届けてくれます。
- ⑤ 近所で一番人気のあるスーパーは [] です。人気がある理由は [] です。
- ⑥ 近所の子は [] 小学校に通っています。中学生なら [] 中学校です。
- ⑦ この学区にあるスポ少のチーム名は [] です。ユニホームは [] 色です。
- ⑧ うちの子(孫)がよく遊ぶ近所の子は [] さんの家の子です。その家では [] という名前の犬(猫)を飼っています。

【問2】あなたなら、こんなとき近所の中でどうしますか。

- ⑨ かわいい子犬を拾った。なんとか飼ってくれる人を探したい。
- ⑩ 認知症のおじいちゃんが徘徊している。一刻も早く見つけたい。
- ⑪ 今年は体育委員。もうすぐ運動会なのにマラソンだけ出場者が決まっていない。
- ⑫ ママさんバレーのメンバーを増やしたい。



どうでしたか。答えはきっとあなたの家に届いている情報や家族の誰かが知っています。

ところであなたの町では「町内での情報」を誰がどのように届けてくれていますか。回覧板や全戸配布・掲示板、もしかしてメールやSNSなんていうのもあるかも知れませんね。

四つ折り ホッチキス留めの 案内チラシ

インドネシアの町内会事情

回覧、広報、掲示板…「まちの情報」と一言にいても色々な話があるものです。そこで、ふと思った。外国では回覧板ってあるの？ 日本では当たり前の回覧板事情は外国の皆さんにも理解できるのかな。

そこで、在住外国人を支援している「オリーブ」の日本語教室に通うデニ・スヘルランさんにお話を聞きました。デニさんはインドネシアの西ジャバ州からやってきた27歳、日本に来て3年目になる笑顔の素敵な男性です。



町内会と回覧板

青地町に住んでいます。私の故郷には回覧板はありません。日本で回覧板が回ってきて最初は驚きました。漢字が多くて読めないところも多いですが、なんとか目を通してから次の人に渡します。また日本という町内会にあたるのかわかりませんが「カンパン」と呼ばれる組織があります。一定のエリアに暮らす300世帯ぐらいで構成されます。カンパンはさらに「RT(アールティ)」という40世帯ぐらいの集合体に分けられます。

カンパンではリーダー・副リーダー・経理の三役を置き、カンパンで決められたことをRTのリーダーが実行していきます。ちなみにカンパンの役職は話し合いで決まります。300世帯で話し合い?とビックリしますが、誰が自分たちのリーダーになる力量の持ち主か、その時々で機微で決められるのです。

みんなで掃除をする

みんなでエリアを掃除する日があり、時はカンパンのリーダーが決めます。チラシを世帯数づくり、四つ折りにして真ん中をホッチキス留め。コンパクトになったお知

らせチラシは副リーダーからRTリーダーに分配されます。RTリーダーは各家庭を訪問して手渡します。不在の場合は改めて出直すか、隣りの家に渡してもらおうよう頼んで帰ります。40世帯を手渡して配るのは大変だと思われるかもしれませんが、家も近いし、夜ならどんなに忙しくても家に帰っているから大丈夫です。お知らせチラシが家に届くのは大体、掃除日の1週間前。直前すぎて日本なら驚くかもしれませんが、ちゃんとみんな掃除に参加しますよ。会社勤めの人その日は休みます。これも日本の皆さんは驚かれるかもしれませんが、インドネシアではイスラム教を信仰しているので毎日モスクへ祈りに行きます。掃除日にはこのモスクで「今日は掃除の日」であることがアナウンスされます。近所の人ほぼ全員がモスクへ行くので、誰もが情報網から漏れずに掃除へ参加することができるのです。

なるほど、日本でいう全戸配布で情報を伝えるのですね。また信仰とモスクがあるおかげで近所の人毎日常顔を合わせるタイミングと場所があるのもポイントのようです。インドネシアにはチラシ・家族・モスクと三重の構えで情報を得る機会がありました。

必要な時に、必要な情報を、必要な人へ。難しいけど大切なこと。万国共通ですね。



回覧板や掲示板についての感想・エピソードを集めてみました。

- 最近では回覧板が入らない形状のポストも結構あるんですね。ピンポン押すのにもちょっと躊躇したりして、留守だったりするとホッとするときがある(笑)
- HPで回覧板を見れる町内会もあるとか。回した後で「控えるの忘れてた～」なんてことも結構。
- PTAなんかだと、急ぎの連絡はラインなんかを使っています。
- 回覧板ってあまり大切な情報は少ない。サッと見てサッと回す。
- 本当に大切な情報は回覧板より人が伝えた方が良い。
- マンションでは回覧せず管理人さんがポストにポストイングするところもある。でもたくさんのチラシがポストの下に捨てられるらしい。
- わが町内では訃報のお知らせは掲示板です。喪服の人を見かけて慌てて掲示板に走ったことがある。
- 班長をしているとき訃報通知を回覧板で回したら、お悔みのあった家の隣の家が留守で回覧板が飛ばされた。葬儀後に隣の人が知ってすごく怒られた。それ以来、訃報通知はコピーして全戸に配るようになりました。
- 至急回覧の「至急」って誰が決めているのでしょうか。
- お知らせチラシなどは、なるべく回数を減らすよう市の広報に合わせて回覧する。
- (回覧で大切に思う情報は何?)火の用心の当番日など自分に責任があることは必ずメモする。
- 回覧板が回ってくることで安否確認にもなっている。回覧板がなくなるとまったく町内との接触がなくなる気がする。
- 回覧を回すのは近所の人と人が顔を合わす大切な機会だと思う。
- できるだけ町内会の役員の労力を少なくできるように、いろいろ工夫している。
- 雨で濡れると読めないの、数年前からファスナー付きのビニール製書類ケースに入れて回覧するようになっている。
- 町内清掃の日などは日程が近くなると改めて日時などを書いたお知らせを回覧している。
- テレビで観た回覧板はすごかった。木の箱に入れる立派な回覧板だった。立派すぎて必ず手渡ししそう。家の前に置いておけない。でも大変そう。

などなど

大切なのは

「普通の会話」ができる関係

丸ノ内町内会長 松村 幸子さん

宅地造成された丸ノ内町に入居したのは昭和46年のことです。当時、建っていた家は10軒くらいで、辺りを見回しても田んぼばかり。街灯すらなく夜は真っ暗でした。それから5〜6年ではぼ宅地は埋まり、今では115軒の町内です。丸ノ内町を5班に分け広報配布やお知らせを回覧しています。

ずいぶん前の話ですが、私の班で

何日経っても回覧板が戻ってこないことがありました。おかしい。順に軒一軒確認していくと、とある家のポストに入らなかったままの回覧板を見つけてしまいました。旅行にでも行かれていたのでしょうか、ずっと留守されていたんですね。でも、これでは情報が止まってしまいます。もし急ぎや重要なお知らせだったら…。以来、町内会長として「回覧を回すときには、ひと声かけてお隣に回すようにし

てください。留守宅があったら次の家に回し、抜けたお宅は班長さんか後でお知らせするようにしてください」と班長・副班長さんには必ず伝えていきます。事あるごとに言つものだから、班長さんたちには煙たがられているかもしれませぬ(笑)

回覧板を回すこと。それは情報の重さに関わらず、近所同士や向こう三軒両隣のコミュニケーションをはかるための大切な行いだと思うのです。黙って隣のポストに回覧板を入れるのではなく、ピンポンして「回覧板、入れておきますね」だけでも声をかける。高齢化している町なら安否確認にもなるし、何気ない立ち

話の良いきっかけにもなります。こうして互いの顔が見える関係や人の輪はつくられていくのではないかなと思います。

幸いというべきか、私の町ではまだあちらこちらで立ち話している姿を見ることが出来ます。サザエさんではありませんが、あのご近所さんの立ち話はホッとさせてくれる光景だし、回覧板や広報だけでは得られない「まちの情報」を補ってくれる大切なものだと思うのです。立ち話が多くみられる町は強い。防犯防災、高齢化、子育て…まちを取り囲む色々な問題に対して、まちとしての底力を発揮していくための土壌

になるのだと思う。

ただ私の町でも立ち話をしているのは女性が多い。回覧板を渡すきっかけがあっても男性はやっぱり難しい。だから町内会では意識して新年会や納涼祭など楽しい事業、魅

力づくりに取り組んでいます。地域清掃だって町内全体で取り組む年2回の掃除の他に、びわ湖通りを毎月班ごとに順番で草引きしています。これも根底にあるのはすべて顔を合わせる機会をつくること。

市内でも珍しい女性の町内会長です。じつとしてるのが嫌な性格で、自分ができることを積極的にしています。すると誰かが助けてくれる。「会長なんだから指示してくればいいですよ」って言ってもらうこともありますが、指示だけでも町はまとまりません。あいさつをし

よう。こんな口うるさい人が町に

も必要。そして言う以上は自分から率先して実践しています。

回覧板の声かけも、あいさつも「普通の会話」ができる関係が町内会には大切だと思うから。私も歳を重ね、いつどこで人のお世話になるかわかりません。私もこの町内に暮らす一人。人生の勉強だと思つて、どんなことでも率先していきたい、そんな思いです。

町内会に

新しいマネジメントを。

同志社大学 政策学部・大学院総合政策科学研究科教授
今川 晃さん

先日、電車の中で気になる光景を目撃した。若者に注意する前に、年配者のマナーを何とかしろ、と高校生の男女が周囲の年配者を睨みながら話している。確かに周りを見ると、5人の旅行帰り風の年配者集団が大声で語り合っている。本当にうるさい。また、座れない人もいるのに、座席の隣にデパートの袋を置いたまま平然と座っている年配者もいる。若者の叫びがこの年配者たちには聞こえないようだ。私は明確に聴きとることができたのだが…。

このように若者だけに課題があるのではなく、世代間の信頼関係が破壊される現場は、社会の至る所に存在する。重要な原因のひとつに特定目的の人間集団がいつばい形成され、それらが交流もなく相互に孤立しているところにある。5人の年配者の集団も周囲との関係を全く意識していない。デパートの袋もおそらく家族のためであり、外とは関係ないといったところである。

町内会に入らなくても、多くの人は、スポーツ、文化、生涯学習、ボランティア、NPOに至るまで何らか

の人間集団に所属しているし、ほとんどの集団が何らかの課題解決に貢献している。家庭生活を円満にまとめることも大切である。でも、電車の中の光景ひとつとっても、それが孤立した集団のままでは、社会で同居できないようである。

プラトンの「洞窟」を想起しても、集団は外の世界とは無関係ではない。外の世界をあまり見なかった住民は、地域を知り、気づくことが基本であり、草津市コミュニティ事業団発行の『そろそろ、この街の話をしようじゃないか。』もこの課題解決に向けたひとつのチャレンジである。

次に、町内会加入だけを叫んでも徒勞に終わることが多い。多くの特定の人間集団が生まれた社会の中で、地域課題を解決するために、町内会はいかに変われるかが問われなければならない時代にさしかかっている。いうまでもなく、その前提となるのが地域に必要な情報をより多くの住民が共有し、自身の、あるいは近い将来における自らの問題として捉えるための地道な取り組み

みと工夫であろう。全国のいくつかの地域では新しいルールづくりやマネジメントにチャレンジしてきている。そろそろ、草津の町内会からも、新しいルールやマネジメントに挑戦するパイオニアが生まれてくることを心より期待している。

いや、もう始まっているかもしれない。



*プラトンの「洞窟」

古代ギリシアの哲学者プラトンが著書「国家」の中で説いた比喩。人間は洞窟の奥に顔を向けて縛りつけられた囚人であり、背後の灯火によって壁に照らし出された影を眺めることしかできず、しばしば、その影が実在であると思いついてしまう。しかし、本当の世界は洞窟の外にあり、そこを見なければ真理に辿り着けないというもの。

いつも…だったのね

おばあちゃん、困った様子です。実はこれ、ホントにあったお話です。おばあちゃんは古新聞を一人で持てるように、小さな束にしてありました。

あなたの町では古新聞や廃品の回収はどのようになっていますか。「普通ゴミ」のように頻繁に出るものではないので、月に一回とか回収日を指定しているところが多いのではないのでしょうか。そして回収日が近づくと回覧板や掲示板で皆さんにお伝えすることになるんですね。もちろん、このおばあちゃんも見ていたはずですが、でも時間を間違えてしまいました。同じように情報を出したつもりでも、(回覧板の)字がよく見えない、うっかり忘れてた、勘違い…など、上手に情報を受け取れない人だっているんですよ。

もう一つ、気になるのは倉庫に溜まった古新聞。どうも今回だけのデキゴトではなさそうです。きっと前回も、おばあちゃんは回収してもらえない古新聞を首をかしげながら持ち帰っていたことでしょう。ご近所さんに聞いておけば、今度は間違えないように対策をとれたでしょうし、話を聞いたご近所さんも気にかけてくれたかもしれません。普段、近所で何気なくする立ち話なんかも実は大切だったりするんですね。

少子高齢社会はもう来ています。いずれ、あなたの町のいたる所でこんなことが起こるかも…。

そう。これって、みんなの問題。

さく・com-com / え・まんじゅう



くさつがわ家とお隣さん〜これって、みんなの問題〜
 かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
 どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる
 今ドキご近所のちよつとこなれた毎日。
 楽しくも少し考えてしまう。もしかして…これって、みんなの問題かも。



ひとまちキラリ

～まちづくり活動提案募集～

(公財)草津市コミュニティ事業団では草津市での創意工夫あふれる魅力的なまちづくり活動を「助成金」という形で応援しています!

これまで206のキラリと輝く提案をいただき、のべ44団体の提案を採択し、活動を応援してきました。

現在も5団体が、この助成金を使った活動を展開しているところです。

今年も下記のとおり草津のまちをより一層魅力的にするまちづくり活動を募集します。

まちの「困った」や「助けて」の声をほっとけないアナタのキラリと光る活動提案をお待ちしています。

【対象】市内でまちづくり活動を行う団体(立ち上げ支援部門は個人も可)

【助成額】立ち上げ支援部門 1年目10万円 2年目20万円

連携・協力部門 1年目20万円 2年目30万円

(採択および2年目継続には審査があります)

【応募方法】まちづくりセンター他公共施設に備え付けの活動提案書に必要事項を記入して、下記までご提出ください。(郵送、ファックス、メール可)

【募集期間】10月1日(水)～11月28日(金) 当日消印有効

【公開ヒアリング】12月13日(土)9:30～ まちづくりセンター

ひとまちキラリについての詳しい内容や疑問、質問、提案書のデータがご入用の方、その他まちづくりに関するお問い合わせ、ご相談は下記までお気軽にご連絡ください。

● **申込み・問合せ** ●

(公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課

〒525-0037 草津市西大路町9-6

☎565-0477 ☎562-9340 ✉com-com@mx.biwa.ne.jp



あなたの一歩
 応援宣言!



コミュニティ事業団設立30周年企画

タイムスリップくさつ ~草津市30年を振り返る~

平成7年1月に起こった阪神・淡路大震災は深い爪痕を残す一方、救援復旧などでのボランティアの活躍などが話題となり、全国的に「市民の力」が見直されてきました。

できたころの草津コミュニティ支援センター▶



《第4弾》市民まちづくりの高まりと草津コミュニティ支援センター〈平成10年(1998年)〉



▲支援センターのキャラクター「センターくん」

阪神・淡路大震災での市民ボランティアの活躍は平成10年の特定非営利活動促進法(NPO法)につながりました。任意の市民活動団体が法人格を取得できるようになり、財産の取得など活動を支える基盤の整備が可能となりました。また、これは市民活動やボランティア活動が広く社会に認知されるきっかけともなり、「行政だけに頼らないまちづくり」の動きがクローズアップされました。「市民活動」という関わり方を通じてまちの様々な課題の解決に取り組んでいこうとする市民が全国的に増えた時期となります。

このような全国的な流れのなか、草津では平成10年5月に草津コミュニティ支援センターが西大路に開設します。草津駅前のマンションの敷地内に建設された小さな2階建てのこの建物は、「草津のまちづくりに役立ててもらいたい」と開発企業から市に寄付されたものです。市民活動に参加したい、団体を立ち上げたいと思う人たちへのサポートを講座・交流会・情報提供などの形で行う中間支援センターとして開設しました。大きな特徴はこれらのサポートやセンターの運営管理を行政職員が行うのではなく、市民自身がボランティアで行っていることです。この「公設市民営」という形態による中間支援センターは全国でも2番目の設立で、先進的な取り組みとして全国から注目を集めました。「公設市民営」の形態は14年経った今も続いています。

「子育ての孤立を防ごう」「草津川の跡地の自然環境を守ろう」「商店街を活性化しよう」など市民によるまちづくりへの機運の高まりにあわせ、「自分たちが主体的に」「広く多くの市民に開放し」「行政ではできない柔軟な動き」といった新しい感覚での事業や組織の運営を軸に、様々な団体がこのセンターを拠点に活動し、そして多くの団体が力をつけて巣立ち、今も市内で課題の解決や草津の活性化のための一翼を担っています。

草津市立まちづくりセンターが生まれる4年前のことです。



▲第1回パワフル交流市民21 (今年予定のパワフル交流・市民の日は第15回) 第1回は支援センターが事務局

草津市市制60周年記念事業 市民ふれあい秋まつり in くさつ



「市民ふれあい秋まつりinくさつ」は、文化・芸術、福祉やまちづくりなど幅広い分野で活躍する団体の活動に触れる参加型イベントです。ワークショップ・展示・体験コーナーやステージ発表など様々な活動をより身近に感じる機会です。

ほっこり温かくって、熱い想いに触れる一日。どなたでも参加できます。

【日 時】 10月18日(土)・19日(日)
10時~16時(会場により異なる)

【会 場】 草津市役所・草津アマカホール・道灌蔵・出会いのひろば・夢本陣
(19日 草津アマカホールのみ)



※模擬店は、18日のみとなります。



市民ふれあい秋まつり内容

18日(土)

- ・パワフル交流・市民の日 福祉を考える市民のつどい
- ・くさつ市民アート・フェスタ2014 子どもフェスタ
- ・上水道通水50周年事業 耐震化セミナー

19日(日)

- ・くさつ市民アート・フェスタ2014

申込み・問合せ ● 実行委員会事務局 (公財)草津市コミュニティ事業団 ☎565-0477

まちセンの仲間を紹介します



NPO法人 あかるくする会

「とにかく暗いニュースが多い中、誰もが希望をもって安心して暮らせる社会にしたい」というNPO法人あかるくする会の発足は2003年。子育て支援などさまざまな事業を行う中、最近では音楽を通じた心理療法に着目して、福祉施設で高齢者と一緒に歌うボランティア活動を行っています。「若いころの音楽の経験が今の活動につながっています。音楽は心身を若返らせるんですよ」と代表の瀬戸さん。音楽をキーワードに誰もが笑顔で暮らせる活動が広がっています。

草津クワイア

「垣根なく誰もが一緒に楽しめるゴスペルを草津でもはじめたい」と2002年にスタート。現在、月に2回、約50名が活動しています。「誰でもいつでも一緒に歌おう!」が草津クワイアのスタイル。「仕事でつらいことがあってもみんなと歌えば心が晴れやかになる。ゴスペルを歌うことは私の心や生活の支えになっています。」とメンバーの福井さんと言います。ゴスペルは歌う喜びをみんなで分かち合い、聴く人も歌う人も晴れやかな気分してくれます。みなさんもゴスペルにチャレンジしてみてください。



草津市ボーイスカウト連絡協議会

子どもたちがより良き社会人になるために、「自ら考え行動して責任をとる力」を養う野外活動を中心に活動しているボーイスカウト運動。連絡協議会は市内で活動する4団の自主性を尊重しながら、ボーイスカウト運動を支える組織です。

「協議会の活動自体は団の自主性を尊重しながら、意見交換会を行い指導者のサポートをしています。」とはメンバーの言葉です。

大家族のようにお互いに支え合っているということを経験から学んでいく活動だと感じました。それはもしかしたら私たちが忘れかけていることかもしれません。

草津でホタルを楽しむ会

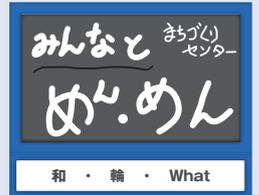
一匹のホタルに出会い、感動した思いをみんなに伝えたいと活動が始まりました。地域の人たちと一緒に取り組んだ浅池(市内)でのホタルが棲みやすい水辺づくり。「今では色々な生き物や自然と出会える大切な水辺となり、地元の人たちが守ってくれています。」と代表の鈴木さん。

会の活動は市内の学校や地域に伝わり、「感動」が着実に広がっています。遠い記憶の中に「ぼっ」と灯る光。未来も灯り続けるためには自然への感謝の気持ちが大切かもしれません。まずはぜひ、あなたの足で一匹のホタルを見つけてみてください。



みんなとめんめん 通算43号

お問い合わせ先 ● まちづくりセンター ☎ 562-9240 ☎ 562-9340 ✉ machi@kusatsu.or.jp



ます。運営協議会では、それぞれ自身の活動から少し離れて「みんなの場所」としての、センターの役割やまちのことを考えながら、みんなが少しずつ成長する場所です。

このコーナーは、まちづくりセンターの登録団体でつくる運営協議会が担当し

美しいと感動することは、活動のなかで人々に接しているときと同じ



草津市母親大会連絡会
大竹 美知子さん

「まちづくりセンター運営協議会(情報部会)が発行する『みんなとめんめん』は、毎回まちセンの登録団体の活動をお知らせしています。紙面に彩りを添えてくれているのが、登録団体である草津市母親大会連絡会の大竹美知子さんによる季節の花とひと言です。「花をよく観察することが活動のなかで人々に接しているときと同じなんです。まちづくりセンターで人と出会い、その思いに触れ、感動や感謝の気持ちを込めて描いています。」

東日本大震災の報道を見て『絆づくりの大切さ』を改めて感じた」と大竹さん。この「みんなとめんめん」はまだ点でしかないそれぞれの活動が団体同士の交流でつながり、線になることでやがて面になるよう名付けられています。これからも活動の様子・感動を盛り込みながら市民の皆さんのもとにお届けします。

聞き取り.. 渡辺智子
(草津栗東おやこ劇場)
みんなとめんめん絵手紙展 11月開催予定
まちづくりセンター・ふらっとサロン

オール草津の 市民創作 ミュージカル

草津アマカホール

草津アマカホールは(公財)草津市コミュニティ事業団が運営管理を始めた平成23年度から毎年、市民創作ミュージカルに取り組んでいます。草津の物語を題材に、プロによる脚本・音楽・演出により、オーディションで選ばれた市民が演じる「オール草津」の本格的な総合舞台芸術です。去る8月2・3日に第4回目のオーディションが行われ、6~67歳までの50人が選ばれ、いよいよ第4回目の「くさつ市民創作ミュージカルショー-KAM2014」の公演が決定しました。

今回のミュージカルショーでは、草津を彩る花たちをめぐりながら草津の魅力を紹介する素敵なストーリー。この草津とあの喜劇王との意外なつながりも必見です。



▲オーディション

くさつ市民創作ミュージカルショー-KAM2014 草津花めぐり

【公演】11月8日(土) ①13:00 ②16:00 *2回公演

【会場】草津アマカホール

【入場料】前売 500円/当日 800円(全席自由)

【販売・問合せ】草津アマカホール ☎561-2345



▲昨年のミュージカル

応援ありがとうございます

市民公益寄付金

草津のまちづくりをみんなで支える仕組みとして市民公益寄付金制度をスタートして早3年が過ぎました。事業団では、これまでみなさんの善意に支えられ様々な取り組みを行ってきたところです。これからも「市民が市民を支える仕組み」としてより多くのみなさんの共感が得られるように努力していきますので、ご支援・ご協力いただきますようお願いいたします。

これまでご寄付いただいた方の中から公表を了承いただいた方のみ企業・団体名、お名前を掲載しております。

- AromaLotus
- ECCジュニア草津駅東口教室
- (有)一心
- (株)えふえむ草津
- (有)からすま農産
- カワイデンキ(株)
- 草津市スポーツ振興事業体
- 草津市農業協同組合
- 草津・栗東金融協議会
- 草津商工会議所
- クロスローズプランニング(株)
- (株)コトブキシーティングサービス
- 小林事務機(株)
- 三精輸送機株式会社
- ダイテック(株)
- 月屋
- トライプラス南草津駅前校
- 西岡写真工房
- ブランリス
- ホテル大昌草津
- (株)ライフコーポレーション
- 赤星典子
- 大久保好子
- 金山一平
- 桐本敏恵
- 鈴木道弘
- 谷本武司
- 萩原三義
- 長谷川佳子
- 廣谷陽太郎
- 浅井尚子
- 小野江里香
- 河端広三
- 後藤 保
- 高井誠治
- 仲山久美
- 服部雅史
- 平野重雄
- *五十音順・敬称略

見つけて ズキリ!

どっか ふるさと草津“変”

イラスト：大村恵(編集ボランティア)

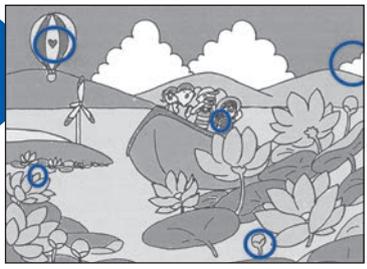
日本の秋を彩る菊。草津宿本陣では志津菊花同好会の皆さんが丹精込めて育てた約100鉢が街道を行き交う人々の目を楽しませてくれます。

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を答えてね。



イラスト：大村恵(編集ボランティア)

前回の 答え



たくさんのご応募ありがとうございました。

※ご応募いただいた内容は、プレゼントの発送および今後の誌面づくりに活用し、それ以外の目的で皆さまの個人情報公表・利用することはありません。

【応募方法】

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えてご応募ください。FAX、メールでもご応募できます。

〆切…**9月30日(火)** 当日消印有効

【宛先】

〒525-0037 草津市西大路町9番6号
(公財)草津市コミュニティ事業団
「コミュニティくさつ9月号」係
☒ com-com@mx.biwa.ne.jp
☎562-9340

【プレゼント】

正解者の中から抽選で11月8日に公演される草津アマカホールミュージカルショー「草津花めぐり」(右)のペアチケット(1,000円相当)を5名様にプレゼント

- **華の草津宿本陣**
10月31日(金)～11月16日(日)まで展示
※11月4日(火)・10(月)は休館日
- **問合せ**
草津宿本陣 ☎561-6631
入館料 240円(大人)

株式会社 三井田商事

JR南草津駅前に移転しまして3年目を迎えております。弊社も地域と共に発展したいと考え、土曜出勤日には駅前及び会社周辺の清掃活動を実施しております。今後も地域の皆様に支えられる企業になれるよう日々努力して参ります。弊社は京都府下及び滋賀県下でOA機器を販売し、自社でメンテナンスをしております。又、水の宅配事業も展開しております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津1丁目1-5
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

スマイ印刷は、自然環境を守る地球に優しい製品づくり「エコ印刷」に取り組んでいます。

SUMAI

株式会社スマイ印刷 sumaiprint.com
 本社:520-3014滋賀県東市川辺568-2 p:077-552-1045 f:077-552-0890
 東京オフィス:103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4階 p:03-5201-3525
 甲賀水口ファクトリーPF1:528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘36-6 p:0748-63-1045

広告掲載募集

本誌への広告掲載を希望する団体または企業を募集します。ただし企業の場合は本誌の趣旨を理解した上で、物品やサービスの販売でなく、企業の地域貢献や社会貢献の周知に限ります。(この広告掲載は事業団が行う市民公益寄付金制度における寄付金として処理させていただきます)

- 1回1枠(名刺サイズ)5,000円
- **【コミュニティくさつ】**
- 約6,300部発行(年4回)
- 市内町内回覧のほか、市内公共施設や銀行等に配架

● **申込み・問合せ**
(公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課内
コミュニティくさつ編集部

熊谷栄三郎の
徒然草津
つれづれくさつ

第14回

レジにて

熊谷栄三郎



「さじ?、さじ? さじって? 少々お待ちください」

二十代とおぼしいレジ係の娘さんは一礼をし、首をかしげながら隣のレジのおばさんのところへ走って行き、なにやら尋ねている。すぐに、おばさんの大声が聞こえてきた。

「あなた、さじいうたらスパーンのことやがな」。市内のスパーマーケットでヨーグルトを買い、さじをおまけにつけてほしいと頼んだときの話である。

他のスーパーでも、同じことがあった。それで分かってきた。さじという日本語を知らない娘さんが世の中に出現し始めているという事。たぶん、彼女らの家庭には年寄りがおらず、さじという単語はもちろん、「さじ加減」とか「さじを投げる」などという言葉も交わされることがないのであろう。

草津はスーパーが多いように思う。私が行く所だけでも六店。対面販売をした昔の店屋に比べると、大型店での買い物はつまらないといわれるが、このよう

な世相が考察できるのだから、けっこう面白い。

面白いのはレジ係の対応だけでない。支払いのため、もたもた長々と二円玉を探し、ついには財布をさかさまにして振った老人を真ん前で見たこともある。私の後ろに並ぶおばさんと顔を合わせたら、おばさんは「待ってあげましょ。いつか私もあんなるんやし」とにっこり。なんか草津はいい町になるような予感がして、うれしかった。

いや、人ごとではない。先日、あるスーパーで酒などを買った。千百三十八円だった。レジでの支払いは、素早く端数まできちり出すのが私の美学だ。だからポケットには必ず五円玉も一円玉もしよせている。そのときもカッコよく払ってレジを後にした。すると背後からレジのおばさんの声が出た。

「あのオ、この五円、ボタンですけど」。振り返るとおばさんも列の客も笑いまくっていた。草津はいい町になると思う。

編集後記

- 先日、町内の役員さんに「毎朝、公園でラジオ体操をやっているのでいらしゃい」とのお誘いの際「たくさんの方がきてくれているのでそれぞれの安否確認ができてありがたいのです」という言葉を聞きましたが、これは先の編集会議でも出ていた言葉。どこの役員さんもちばん気にかけているのは皆さんの安否なのだという事を改めて感じました。(中井)
- 連日の酷暑でも、比叡のお山は泰然自若としてどっしり構えています。小生は「猛暑日に心頭滅却大比叡」と詠んでみました。いや非戦争と一心不乱に念じているのかも知れない。(橋詰)
- 何年も一緒だった近所の方が引っ越されて寂しい〜! 自治会の役員も頑張った同志だったのに…団地は人の出入りの問題も関係してきますよね。新しく入ってくる方が良い方だといいな。(大村)
- 8月17日は自治会の地藏盆。子ども中心に老いも若きも参加し交流を深めます。準備、当日運営にと役員の方々は忙しい。自治会長の夫は療養中。役員の方々にただただ感謝です。(石田)



「コミュニティくさつ」は、みんなで
つくるまちづくり情報誌です!

市民編集ボランティア

「コミュニティくさつ」は市民の皆さんと共に作成発行しています。本誌の企画、取材、寄稿、配布などを一緒にしてもらえる市民編集ボランティアを募集しています。写真やイラストが得意な方も大歓迎。

- 編集会議(3か月に1回)で意見を出してくれる人
- 取材同行や寄稿をしてくれる人
- 写真やイラストを提供してくれる人
- 自身の町内会や団体メンバーに本誌を配布してくれる人

●申込み・問合せ●

(公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課内
コミュニティくさつ編集部

南草津に光の演出
イルミナ2014参加募集!



事業団では今年の冬も東山道記念公園を中心としたJR南草津駅西口の一帯を光の演出で彩る「イルミネーションinみなみくさつ2014」を開催します。絆や縁をつなぎ、まちに暖かさや賑わいをもたらす光の演出「イルミナ2014」を各種団体・サークル・ご家族・お友だちなどで一緒に盛り上げてくれる方を募集します。

イルミネーションinみなみくさつ2014

【期間】11月～翌年1月(予定)

【会場】JR南草津駅西口 東山道記念公園

【問合せ】草津市公園事務所(ロクハ公園内) ☎564-3838

